



はじめりと設立

洗剤による水環境の悪化が社会問題化する中、「協同組合せっけん運動連絡会（協石連）」は1981年に設立しました。せっけん運動を推進する協同組合や生産者団体が中心となり、安全や環境に配慮した活動を推進してきました。合成洗剤問題の研究やせっけんの改良・普及にとどまらず、広く環境問題に目を向け、飲料水の水質調査や無蛍光衣料の普及、化学物質削減ネットワーク（Tウォッチ）への参加などの活動も行ってきました。またアジア各国でせっけん会議を開催するなど、海外でも活動を展開してきました。参加しやすく、多くの団体で運営していく組織になるために組織を改編し、「せっけん運動ネットワーク」として再出発してから今日に至るまで、全国の仲間とともにせっけん利用者を増やす取り組みを続けています。



せっけん運動ネットワークの 目的と展開

私たちは地域生協、大学生協、NPO、市民団体など、大勢が参加できるせっけん運動のネットワーク機構です。せっけんを入口として環境問題全般に広く関心を持ち、相互交流をはかり、地域におけるせっけん運動の発展を目指します。また今までにない新しい活動提案もしていきます。専用のホームページでは、相互の情報交換だけでなく、広く活動参加を呼び掛ける仕組みを作っていきます。



人と環境にやさしいせっけんを 使いましょう

洗剤には昔ながらのせっけんと合成洗剤の2種類があることをご存知ですか。合成洗剤は第一次世界大戦中にせっけんの原料である天然油脂が不足し、石油を精製する時に出る廃棄物から作られたのが始まりです。天然原料をうたう合成洗剤でも分解に時間がかかるものが多く、また人の健康や水生生物への様々な影響が心配されます。5千年も前から人の暮らしと共にあるせっけんは分解性に優れた洗浄剤です。ぜひ、せっけんの使用を広めていきましょう。

改定日2026年5月

私たちの健康と 子どもたちの未来のために

わたしたちは、身近な暮らしを見直し、健康や環境に悪影響を及ぼす合成洗剤ではなく、せっけんを選ぶことを入り口にして、被害者にも加害者にもならない暮らしを目指しています。団体、個人を問いません。せっけん運動ネットワークに参加しませんか。

規約（抄録）

会員

会員は、正会員（団体）・準会員（団体）・個人会員の3つに区分します。

▶正会員

・議決権を有し、この会の運営に携わることができるものとします。

・この会のHPにおいて、団体名を表記します。

・発行物の閲覧やダウンロードを可能とします。

▶準会員・個人会員

・発行物の閲覧やダウンロードを可能とします。

会費

活動に必要な費用は、会員から拠出される会費を以て賄うこととします。

①正会員：年1口10,000円

②準会員：年1口 5,000円

※基準とする口数は会員数2,000人までを1口とし、超える場合は2,000人毎に1口を加算します。但し、会費の上限は300,000円とします。

③個人会員：年1口2,000円

但し、以下団体は特別枠とします。

④連合会会費：年10口100,000円

⑤漁協・農協・大学生協：1口10,000円

問い合わせ先

せっけん運動ネットワーク事務局

TEL：070-1437-5553

e-mail：sekkennetwork@gmail.com

〒156-0051東京都世田谷区宮坂3-13-13 3F

生活クラブ生活協同組合・東京



せっけん運動 ネットワーク

（旧 協同組合石けん運動連絡会）

<http://sekkennet.org/>

せっけん使用を入り口に
環境保全を考える



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

せっけん運動ネットワークは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています



せっけん運動の歩み

西暦	せっけん運動のあゆみ	社会の動き
1978	「琵琶湖を守る石けん使用推進 県民運動県連絡会議」 (後の『びわ湖会議』発足)	合成洗剤追放・石けん使用を提起し た直接請求運動を展開
1979		びわ湖富栄養化防止条例制定
1981	協同組合石けん運動連絡会 結成集会を開催（10月3日高松）	
1987		皮膚障害の第一位は合成洗剤との 健康被害モニター報告（厚生省）
1988	びわ湖会議10周年 第1回シャボン玉フォーラム開催	
1999		※1 ダイオキシンの特別措置法 ※2 PRTR法公布
2010～ 2011	全体で組織改編検討	
2013	せっけん運動ネットワーク 第1回定期総会	
2021	PRTR制度への石けん成分指定を 取り下げることに成功した	

- ※1 ダイオキシン特別措置法
ダイオキシン類による環境の汚染の防止及びその除去等をす
るためダイオキシン類に関する施策の基準の制定
- ※2 PRTR法
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促
進に関する法律(化学物質排出把握管理促進法)

より詳しい沿革につきましては
HPIに掲載しておりますので、
ご覧いただくことができます。



全国規模で行う活動紹介

≫シャボン玉月間

1984年から毎年7月を中心に行ってきた全国統一活動です。「安全性や環境影響に不安のある合成洗剤の使用をやめて、せっけんを使いましょう」をコンセプトに統一ポスター等を用いて、せっけんの使用を広く地域へ呼びかけます。会員団体の組合員のせっけん利用率を高める活動と合わせて、地域の人々にもせっけんの使用を呼びかけています。また、毎年行政訪問活動を実施し、各自治体へもせっけん利用を働きかけ、全国の首長メッセージを集め、機関誌で特集号を作成しています。

(機関誌はHPIに掲載)



≫シャボン玉フォーラム

次世代にきれいな水と豊かな自然を残していくため、またせっけんの使い手を増やしていくために、毎年各地の会員団体が持ち回りで、全国集会「シャボン玉フォーラム」を開催しています。1988年から開催を迎え、2025年には35回を迎えます。活動の成果や情報交換、水環境保全を中心とした環境問題をテーマに、開催地の特徴を活かした講演会や分科会を企画しています。



全国に広がる せっけん運動ネットワークの輪



せっけん運動ネットワークはせっけん利用を入り口に水環境を守る視点から幅広く暮らしを見直そうと活動する漁協、農協、生協など全国50団体の協同組合から構成される組織です。

